

# INFORMATION



## 第56回西日本生理学会

第56回西日本生理学会を下記の要領で開催いたします。

会 期：平成17年10月21日（金）～10月22日（土）

会 場：北九州国際会議場  
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

参加申し込み：

学会および懇親会に参加ご希望の方は

- ・第2報として、研究室ごとに郵送しましたフロッピーディスク内の書類ファイルに必要事項を記入の上、本学会事務局あてにFAXとe-mailにて送信して下さい。ファイルに関してはHP (<http://www.kyu-dent.ac.jp/depart/physiology/56nishi/>) からダウンロードできます。
- ・申し込みと同時に会費を下記口座へご送

願います（送金には、払い込み取り扱い票をご利用下さい）。学会参加費（評議員5,000円、一般会員4,000円、非会員4,000円、学生会員3,000円）、懇親会費（評議員・一般会員・非会員6,000円、学生会員4,000円）

- ・一旦、入金された会費は返却しかねますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。
- ・参加申し込みをされた方には、後日、予稿集・会員名簿などをお送りいたします。

学会参加費および懇親会費振込先：

郵便振替口座：第56回西日本生理学会  
郵便振替口座番号：01720-0-78742  
第56回西日本生理学会 事務局

FAX：093-582-8288

e-mail：physiol@kyu-dent.ac.jp

書類名	提出期限	提出方法
①参加申込書	平成17年8月16日（火） 必着	FAX：093-582-8288 e-mail：physiol@kyu-dent.ac.jp
②予稿集用原稿		
③推薦書（非会員が発表者の場合のみ、但し押印をしたものを当日受付に提出してください。）		
④「日本生理学会雑誌」掲載用抄録原稿と原稿の入ったフロッピーディスク	発表当日、受付へ	
⑤非会員推薦書（押印）		

①、②、③はひとつのファイルになっています。

#### 発表形式：

- ・発表は、ノートパソコンと液晶プロジェクターを使用した口頭発表とさせていただきます。
- ・但し、コンピューターのトラブルに備えOHP用の原稿（透過型）も必ずご用意下さい。
- ・ノートパソコンは発表者ご自身でお持込下さい。操作は共同演者が基本的に行ってください。操作する共同演者がおられない場合には事務局がお手伝いいたしますので事前にお知らせ下さい。
- ・発表およびPC映写に関する詳細につきましては予稿集およびホームページでお知らせいたします。

#### 発表申し込み：

- ・研究室あたりの演題数には制限はありませんが、演者になれるのは1人1演題に限ります。
- ・演者（筆頭著者）について  
演者は従来、日本生理学会会員に限られていましたが、日本生理学会評議員による推薦書を提出していただくことにより、非会員の方が筆頭著者として発表することが出来ます。推薦書を提出される方は、参加申し込み書類などと一緒にFAXおよびe-mailでお送り下さい。但

し、大会当日に押印したものを受付に提出してください。

#### ・奨励賞について

本大会より若手研究者を対象にした奨励賞が設けられます。詳細につきましてはHP (<http://www.kyu-dent.ac.jp/depart/physiology/56nishi/>) でご確認下さい。

#### 懇親会：

10月21日（金）総会終了後、懇親会を18時30分（予定）より国際会議場レストラン「ラブラージュ」で開催いたします。多数のご参加をお待ち申し上げます。

#### お問い合わせ：

学会についてのお問い合わせはメールでお尋ね下さい。

第56回西日本生理学会事務局  
e-mail : [physiol@kyu-dent.ac.jp](mailto:physiol@kyu-dent.ac.jp)  
〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1

九州歯科大学 生命科学講座 生理学分野  
第56回西日本生理学会事務局（小野・辻澤）  
TEL : 093-582-1131（内線6632）

FAX : 093-582-8288（直通）  
第56回西日本生理学会当番幹事  
九州歯科大学 生命科学講座 生理学分野  
代表：稲永 清敏



## 第7回ペプチドフォーラム

### 膜透過ペプチド：細胞との相互作用と蛋白質・

### 薬物デリバリーへの応用

日時：平成17年8月4日（木）10：30～17：10  
会場：京都大学大学院薬学研究所 24 番講義室  
（京都市左京区吉田下阿達町46-29,  
<http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/index.html>）

主催：日本ペプチド学会

共催：日本薬学会・他

オーガナイザー：

（京大化研）二木史朗，（京大院薬）松崎勝巳  
膜透過ペプチドの発見と研究の展開（京大化研）  
二木史朗

タンパク質セラピー法の高機能化と治療への応用（岡山大医）松井秀樹

膜透過性ペプチドPTD-QBP1を用いた神経変性疾患ポリグルタミン病に対する分子治療（阪大医）永井義隆

蛋白導入システムの豚島移植への応用（京大病院）野口洋文

細胞死抑制活性強化蛋白質FNKを用いた蛋白質導入治療法の開発（日本医大）太田成男

癌免疫療法を目指した膜透過ペプチド融合タンパク発現ベクターの開発（京大院薬）高倉喜信  
TAT-Protein Aによる特定タンパク質の細胞内導入法の開発（東工大院生命理工）小島英理  
抗菌性ペプチドの膜透過機構（京大院薬）松崎勝巳

核酸/ポリカチオン相互作用におけるカチオン種の効果（九大先導研）丸山 厚

オリゴアルギニン修飾による薬物の経粘膜透過性の改善（京都薬大）山本 昌

オクタアルギニン修飾リポソームの細胞内取り

込みと細胞内輸送機構（北大院薬）原島秀吉  
オリゴアルギニン修飾ベクターにおけるアルギニン鎖長の遺伝子導入効率への影響（星薬大）米谷芳枝

マルチファンクショナル人工ベクターを用いる遺伝子デリバリー（阪市大院工）長崎 健

参加費：無料（定員80名）

申込・問合せ先：

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所 二木史朗

Tel：0774-38-3210/3211

Fax：0774-32-3038

E-mail：futaki@scl.kyoto-u.ac.jp

<http://www.scl.kyoto-u.ac.jp/~bfdc/forum.html>



## 財団法人 上原記念生命科学財団平成17年度上原賞及び助成公募

### 上原賞（研究業績に対する褒賞）

対象課題：生命科学，特に健康の増進，疾病の予防，および治療に関する以下の諸分野の研究。

- (1) 栄養学，薬学一般，社会医学（含体力医学），東洋医学
- (2) 基礎医学（上記以外）
- (3) 臨床医学（ 〃 ）

対象者：顕著な功績をあげ，引き続き活躍中の研究者。

（但し，文化勲章受章者，文化功労者および日本学士院賞受賞者は対象から除く）

褒賞の方法：上原賞として

正賞 賞状および金牌

副賞 2,000万円 2件以内

募集方法：当財団の役員・評議員，各学会の代表者および既上原賞受賞者に推薦を依頼する。

募集開始：平成17年6月10日

締 切：平成17年9月9日

選考方法：選考委員会で選考し，理事会・評議員会で決定する。

褒賞金（副賞）交付時期：平成18年1月～3月中

### 研究助成

研究助成金

対象課題：生命科学，特に健康の増進，疾病の予防，および治療に関する以下の諸分野の研究。

- (1) 栄養学，薬学一般，社会医学（含体力医学），東洋医学
- (2) 基礎医学（上記以外）
- (3) 臨床医学（ 〃 ）

助成対象：日本在住の研究者で，年齢不問，単独研究でも共同研究でもよい。但し，政府出資に係る大型研究プロジェクトの代表研究者は対象としない。

助成方法：1件 500万円

助成件数 70件

募集方法：①専門誌へ広告

②大学等へ推薦依頼

推薦者：①大学一大学長（但し，総合大学は学部長）

②大学以外の理事会が承認した研究機関は代表責任者の推薦とする。

募集開始：平成17年6月10日

応募締切：平成17年9月9日

選考方法：選考委員会で選考し、理事会・評議員会で決定する。

助成金交付時期：平成18年1～3月中

研究奨励金

対象課題：生命科学，特に健康の増進，疾病の予防，および治療に関する以下の諸分野の研究。

(1) 栄養学，薬学一般，社会医学（含体力医学），東洋医学

(2) 基礎医学（上記以外）

(3) 臨床医学（　ク　）

助成対象：日本在住の若手研究者で昭和43年4月1日以降出生の者。但し、医学部等，6年制の学部卒業者は昭和41年4月1日以降出生の者とする。

助成方法：1件 200万円

助成件数 80件

募集方法：①専門誌へ広告

②大学等へ推薦依頼

推薦者：①大学—大学長（但し，総合大学は学部長）

②大学以外の理事会が承認した研究機関は代表責任者の推薦とする。

募集開始：平成17年6月10日

応募締切：平成17年9月9日

選考方法：選考委員会で選考し、理事会・評議員会で決定する。

助成金交付時期：平成18年1～3月中

### 海外留学助成（上原フェローシップ）

リサーチフェローシップ

対象課題：生命科学，特に健康の増進，疾病の予防，および治療に関する以下の諸分野の研究。

(1) 栄養学，薬学一般，社会医学（含体力医学），東洋医学

(2) 基礎医学（上記以外）

(3) 臨床医学（　ク　）

助成対象：次のいずれにも該当する者

①昭和43年4月1日以降出生の者。但し，医学部等，6年制の学部卒業者は，昭和41年4月1日以降出生の者とする。

②博士号を有するか，またはそれと同等以上の研究業績を有する者。

③平成18年1月以降新たに海外留学に出立する者※。

④受入機関の決まっている者。

⑤文部省，学術振興会，その他，他の機関の助成との重複は避ける。

⑥留学中の年間収入（税引後）が540万円以下の者。

助成方法：1件 340万円以内

助成件数 約60件

助成期間1年

募集方法：①専門誌へ広告

②大学等へ推薦依頼

推薦者：①大学—大学長（但し，総合大学は学部長）

②大学以外の理事会が承認した研究機関は代表責任者の推薦とする。

募集開始：平成17年6月10日

応募締切：平成17年9月9日

選考方法：選考委員会で選考し、理事会・評議員会で決定する。

助成金交付時期：平成18年1～3月中

ポストドクトラルフェローシップ

対象課題：生命科学，特に健康の増進，疾病の予防，および治療に関する以下の諸分野の研究。

(1) 栄養学，薬学一般，社会医学（含体力医学），東洋医学

(2) 基礎医学（上記以外）

(3) 臨床医学（　ク　）

助成対象：次のいずれにも該当する者

①昭和47年4月1日以降出生の者。

②博士号を有するか，または平成18年4月までに取得見込の者。

③助成期間中は，留学先および現在の所属研究機関等から給与，渡航費，および滞在費等の給付を受けない者。

④平成18年1月以降新たに海外留学に出立する者※。

⑤受入機関の決まっている者。

⑥文部省，学術振興会，その他，他の機関の助

成との重複は避ける。

助成方法：1件 340万円以内

助成件数 約40件

助成期間1年

募集方法：①専門誌へ広告

②大学等へ推薦依頼

推薦者：①大学—大学長（但し、総合大学は学部長）

②大学以外の理事会が承認した研究機関は代表責任者の推薦とする。

募集開始：平成17年6月10日

応募締切：平成17年9月9日

選考方法：選考委員会で選考し、理事会・評議員会で決定する。

助成金交付時期：平成18年1～3月中

※但し、年内に出立する者及び募集開始時点で海外留学2年未満の者は事情によっては助成の対象とする。

#### 第6回特定研究助成金

対象課題：「システムズ・バイオロジーの新展開」  
システムズ・バイオロジーの研究において、これまでの要素還元的な解析や生体情報の集合体を単に網羅的に解析するのではなく、情報ネットワークのダイナミックな制御と統合を明らかにすることを目的として、以下の研究を対象とする。

(1) 個体および細胞間の情報ネットワークの制御に関する研究

(2) 細胞内情報ネットワークの制御に関する研究

(3) 情報ネットワークの異常と疾病に関する研究

助成方法：助成金は平成17年度より3年間の分割交付とし

(A) 助成金総額 1件 1,500万円 約5件

(B) 同 上 1件 900万円 約10件

募集方法：専門誌へ広告

募集開始：平成17年6月10日

募集締切：平成17年8月23日

選考方法：選考委員会で選考し、理事会・評議員会で決定する。

助成金交付期間：第1回平成18年1月以降、第2回平成18年12月以降、第3回平成19年12月以降

研究成果の発表：

(1) 助成金受領者は、国際シンポジウムの組織委員または講演者となって国際シンポジウムを開催し、その研究成果を発表する。

(2) 上記の他、研究計画の打ち合わせ、進捗状況の報告および討議のための会議を開催する。

財団法人 上原記念生命科学財団

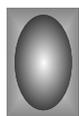
〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号

TEL 03-3985-3500

FAX 03-3982-5613

E-Mail uehara-f@jade.dti.ne.jp

http://www.ueharazaidan.com/



## 第241回 日本生理学会 生理学東京談話会のお知らせ

日時：2005年11月26日（土曜日）午前10時～午後4時（予定）

場所：〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

東京慈恵会医科大学・西新橋キャンパス  
大学1号館講堂（大学1号館3階）

<http://www.jikei.ac.jp/lnp/access.htm>

演題および抄録締切：2005年10月31日（月曜日）

（抄録の様式などの詳細は追って後日ご案内いたします）

第241回日本生理学会 生理学東京談話会

当番幹事：

東京慈恵会医科大学・総合医科研・神経生理  
加藤総夫（担当）

東京慈恵会医科大学・生理学第1 馬詰良樹  
東京慈恵会医科大学・生理学第2 栗原 敏  
連絡先：  
東京慈恵会医科大学・総合医科学研究センター  
神経科学研究部・神経生理学研究室

加藤総夫  
〒105-8461 港区西新橋3-25-8  
電話：03-3433-1111 内線2395  
ファクス：03-3435-1922  
電子メール：danwakai2005@jikei.ac.jp



## トロポニン発見40周年記念国際シンポジウム 第33回生理研カンファレンス Regulatory proteins of striated muscle—structure, function and disorder—（筋収縮の調節タンパク質—構造、機能および疾患—）

期 日：平成17年10月25日(火)～10月28日(金)  
場 所：自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター

オーガナイザー：大槻磐男（東京慈恵医大）  
岡田泰伸（生理学研究所）

江橋節郎先生による筋収縮カルシウム調節タンパク質トロポニンの発見40周年を記念し、国内外の研究者が参加して国際シンポジウムを開催します。

### 1. 日程

10月25日 夕刻；参加登録，レセプション  
10月26日 午前，午後，夜；講演，ポスター  
10月27日 午前，午後；講演，ポスター，  
夜；パーティ  
10月28日 午前，午後；講演，ポスター

### 2. 講演者

国外：M.C. Geeves, J. Gergely, S.E. Hitch-

cock-Degregori, A.F. Huxley, H.E. Huxley, J. Mogensen, R.J. Moss, S.V. Perry, J.D. Potter, R.J. Solaro, B.J. Sykes, A.G. Szent-Gyorgyi, L.S. Tobacman, M.V. Vinogradova

国内：T. Arata, M. Endo, M. Iino, S. Ishiwata, E. Katayama, K. Kinoshita, K. Kohama, Y. Maeda, M. Miki, S. Morimoto, Y. Ogawa, I. Ohtsuki, M. Tanokura, T. Toyo-oka, C. Toyoshima, T. Wakabayashi, T. Yanagida

### 3. ポスター発表応募締め切り：

平成17年7月31日

### 4. 参加費：2万円〔食事代（昼食3回，夕食1回）と懇親会費を含む〕

### 5. 参加申し込み方法等の詳細：<http://www.troponin-conference.com/>

### 6. 問い合わせ先：tnsymposium@jikei.ac.jp



## 第10回酸素ダイナミクス研究会（10周年記念大会）

日 時：平成17年9月17日（土）  
場 所：阪急ターミナルビル14階 島津製作所  
関西支社 マルチホール  
（大阪市北区芝田1丁目1-4）

8：45 受付開始

9：25 開会の挨拶

9：30 OS1「脳機能と脳循環代謝」

### 1. fMRI信号の神経生理・化学的解釈

黄田育宏（北海道大学大学院歯学研究科口腔機能情報学）

### 2. ヒツジ胎仔における脳室周囲白質軟化発症時における脳血流動態のNIRS解析

松田 直（東北大学病院周産母子センター新生児室）

### 3. 虚血性脳血管障害の脳酸素代謝とMetabolic Penumbra

畑澤 順 (大阪大学大学院医学系研究科生体情報医学講座)

11:10 コーヒーブレイク

11:20 特別講演

田中孝夫 (鹿屋体育大学教授)

「高地トレーニングと水泳パフォーマンス向上」

特別発言

柴田亜衣 (鹿屋体育大学大学院)

アテネオリンピック水泳800m自由形金メダリスト

12:10 昼食

13:10 OS 2「常圧および低圧低酸素ならびに高気圧高濃度酸素環境と運動トレーニング」

4. 常圧低酸素室を用いた高所トレーニングの効果: スポーツ選手および高所登山家への適用事例

山本正嘉 (鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター)

5. 心循環と骨格筋における低酸素トレーニング効果の違い

木目良太郎 (東京医科大学衛生学公衆衛生学教室)

6. 高気圧・高濃度酸素への曝露が生体に及ぼす影響

石原昭彦 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

14:50 コーヒーブレイク

15:00 OS 3「新しい分子・新しい計測法」

7. ニューログロビンの生理機能

若杉桂輔 (京都大学大学院工学研究科)

8. In vivo 縦検出電子スピン共鳴 (LODESR) 法による非侵襲脳組織中酸素濃度計測

横山秀克 (産業技術総合研究所計測フロンティア研究部門)

9. 腫瘍低酸素選択的薬剤 Cu-ATSM の開発と応用

藤林康久 (福井医科大学高エネルギー研究センター)

16:40 閉会の挨拶 (16:50 終了)

17:15 懇親会 (19:15 終了)

<関西実行委員>

伊藤俊之 (京都府赤十字輸血センター), 古賀俊策 (神戸芸術工科大学), 下内章人 (国立循環器病センター), 関 淳二 (国立循環器病センター), 清水公治 (島津製作所医用機器事業部), 高橋英嗣 (山形大学医学部), 精山明敏 (大阪大学医学部)

問い合わせ先: 精山明敏 (大阪大学大学院医学系研究科情報生理学講座)

TEL: 06-6879-4632, FAX: 06-6879-4634,

E-mail: asciyama@physl.med.osaka-u.ac.jp

特別講演のねらい

オーガナイザー: 浜岡隆文 (鹿屋体育大学)

トレーニングにともなう循環系の酸素供給能力の向上と運動選手の身体能力の向上との間にどのような関わりがあるのかという問題は、スポーツ医学の観点から記録への挑戦を考える上で重要なポイントとなる。酸素ダイナミクス研究会では、これまでも幅広く上記の問題について議論を重ねてきた。今回、世界の最前線でこの問題に取り組んでいる、田中孝夫先生 (鹿屋体育大学教授) と柴田亜衣選手 (アテネオリンピック水泳800m自由形金メダリスト: 鹿屋体育大学大学院) を招いて、生体機能や身体能力の向上と酸素の関わりを考えてみたい。

オーガナイズド・セッションのねらい

OS 1: 脳機能と脳循環代謝

オーガナイザー: 星 詳子 (東京都精神医学総合研究所)

<趣 旨> 脳が正常に機能するためには、適切な酸素とグルコースの供給が必須で、脳循環不全はしばしば脳に不可逆的障害を引き起こす。そのため、脳循環代謝に関する関心は高く多くの研究が行われ、脳活動と脳循環代謝間のタイトカップリングなどが明らかにされてきた。このカップリング機構は、PET や fMRI などの神経イメージング法の基本で、脳循環代謝計測から脳の活動状態を捉えることを可能にしている。しかし、脳循環代謝調節機構やその破綻がもたらす病態生理などの詳細については未だ充分には解明されていない。本 OS は、最新の興味深い研究を取り上げ、脳循

環代謝に関する理解を深めることを目的とする。  
OS 2：常圧および低圧低酸素並びに高気圧高濃度酸素環境と運動トレーニング

オーガナイザー：浜岡隆文（鹿屋体育大学）・古賀俊策（神戸芸術工科大学）・上月久治（岡山学院大学）

＜趣 旨＞運動パフォーマンスの向上を目的として、低濃度（常圧・低圧）酸素環境が用いられている。また、近年高気圧酸素環境を作り出す比較的小型の装置が市販されるようになっており、その生体への影響も興味深いところである。そこで、本セッションは、両環境の効用を整理することにより、より効率の良い運動トレーニングの方法を模索することを目的として企画した。

OS 3：新しい分子・新しい計測法

オーガナイザー：精山明敏（大阪大学大学院医学系研究科）・関 淳二（国立循環器病センター研究所）・下内章人（国立循環器病センター研究所）

＜趣 旨＞これまで酸素ダイナミクス研究会では、生体と酸素の関わりを、機能的には遺伝子レベルから個体レベルまで、また、技術的には光学的なアプローチから、NMRや電極法に至るまで幅広い視野で紹介してきた。創立10周年を迎えた本研究会のオーガナイズド・セッション3では、今世紀に入り新しく見つかった蛋白質（ニューログロビン）の機能や、新しい技術開発による *in vivo* での生体内非侵襲低酸素濃度計測法とその応用について紹介する。



## 第21回<sup>13</sup>C医学応用研究会、第8回日本呼気病態生化学研究会 合同発表会のご案内

日 時：平成17年11月4日（金）、5日（土）

会 場：東邦大学医療センター大森病院5号館  
講堂

住所：〒143-8541

大田区大森西6-11-1

TEL：03-3762-4151

交 通：JR蒲田駅 徒歩20分、京急バス大森駅  
行10分（東邦医大前下車）

京浜急行梅屋敷駅 徒歩5分

今回の合同発表会では4日（金）に市民公開講座、5日（土）にシンポジウム、ランチオンセミナー、一般演題を予定しております。呼気試験および生体ガス分析による臨床診断、病態解析、基礎研究、さらに<sup>13</sup>C同位体合成などに関する演題を募集します。シンポジウムは「呼気ガス、<sup>13</sup>C等を用いた非侵襲診断法の確立」をテーマとして、演題を募集します。

演題の申込みは、最初に第21回<sup>13</sup>C医学応用研究会、第8回日本呼気病態生化学研究会、どちらでの発表を希望するか明記し、タイトル、所属、

氏名、本文の順に合計600字以内で記載し、9月30日までに下記にメールでお送り下さい。

演題送り先メールアドレス

koki13c2005@world.odn.ne.jp

尚、5日（土）研究会終了後、懇親会を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

### 【お問合せ先】

第21回<sup>13</sup>C医学応用研究会

〒143-8541 大田区大森西6-11-1

東邦大学医療センター大森病院消化器内科

三木一正

TEL：03-3768-7242 FAX：03-3768-7241

E-mail：mikik@med.toho-u.ac.jp

第8回日本呼気病態生化学研究会

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学総合保健体育科学センター

近藤孝晴

TEL & FAX：052-789-3960

E-mail：kondo@htc.nagoya-u.ac.jp



## 千里ライフサイエンス技術講習会 第42回

### 「SNP, DNA チップの最新技術と応用」

日 時：平成17年11月4日（金）午後1時～5時

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル6階  
（地下鉄御堂筋線千里中央駅北口すぐ）

ねらい：ゲノムデータが整備され、ゲノム解析技術も新しい局面を迎えている。短期間に全ゲノムのSNPを鳥瞰できるようになり、またDNAチップも遺伝子発現解析以外の種々の応用も可能になっている。本講習会ではこれらの進歩をふまえ、両技術の基本から最新の応用まで習得する。

コーディネーター：

戸田達史 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝学教授

プログラム：

講義1：SNP解析の基礎と応用

講義2：DNAチップによる解析と最新技術

実習：実際の解析機器での講習とデータ解析

講師：

戸田達史 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝学教授

油谷浩幸 東京大学先端科学技術研究センター

ゲノムサイエンス教授

定 員：30名

参加費：5,000円

申込方法：氏名、勤務先、所属、役職名、〒、所在地、電話およびFAX番号を明記の上、郵便、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。事務局より受付の通知を返送いたしますので、そこに記載した振込先口座に参加費をお振込みください。入金を確認後、通常1週間以内に領収書兼参加証をお届けいたします。

申込締切：平成17年9月30日（財団必着）但し、定員を超過した場合は参加者の調整を行う場合があります。

申込先：（財）千里ライフサイエンス振興財団  
技術講習会G42係

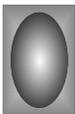
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
千里ライフサイエンスセンタービル8階

TEL：06-6873-2001

FAX：06-6873-2002

E-mail：tnb-lsf@senri-lc.co.jp

（注 lsf；エルエスエフ、lc；エルシー）



## 第52回中部日本生理学会のご案内

名古屋大学環境医学研究所

神経性調節分野 水村和枝

視覚神経科学分野 小松由紀夫

中部地区の地方会（中部日本生理学会）は、愛知、静岡、三重、岐阜、山梨、長野、石川、富山、福井各県の生理学会会員の集まりとして年1回の会合をもってきました。日本生理学会大会での発表がすべて英語になったことから日本語の発表の場としての地方会を充実させるため、本年度も全国から演題を受け付けることに致しました。多数のご参加、演題ご提出を頂きますようご案内申し上げます。

上げます。

会 期：平成17年9月29日（木）10：30～30  
日（金）12：00

会 場：名古屋大学IB情報館2F大講義室  
名古屋市千種区不老町（地下鉄名城線名古屋大学下車3番出口すぐ）

懇親会：9月29日（木）18：00～20：00

テニス大会：9月30日（金）午後（インドアコートを予定）

発表形式：口演（発表12分、討論3分の予定。演題数により変更の可能性があります。）

演題申し込み方法：電子メールの添付ファイルにて事務局アドレスへお送りください。ファイル形式はMS Word document形式，リッチテキスト形式，テキスト形式のいずれか。演題名，発表者・所属，本文の間は1行空けA4一枚以内にまとめてください。口演者に○印をつけてください。

事前参加申し込み方法：同封の参加申込書に参加者氏名，職名（学年），演題提出の有無，懇親会出席の有無，テニス大会出場の有無，入金明細をご記入のうえFax（052-789-3889）にてお送りください（なお，申込書はホームページからダウンロードできます。記入したファイルを事務局にE-mailでお送りいただいても結構です）。

会費：参加費：一般 ¥3,000 学生 ¥1,000  
懇親会費：一般 ¥5,000 学生 ¥1,000  
テニス大会参加費：¥2,000

演題・事前参加申し込み，参加費・懇親会費振り込み締切：平成17年8月1日

振込先：口座番号：00810-2-112975

口座名称：第52回中部日本生理学会

上記振り込み口座に郵便局にある青色振り込み

用紙でお振り込みください。

日本生理学雑誌掲載用抄録の提出：学会当日，日本生理学雑誌掲載用抄録（タイトル・発表者・所属を含め600字以内，図表使用不可）のハードコピー（プリントアウト）2部およびファイル（フロッピーディスク使用，フォーマット，ファイル形式を明記）をご提出ください。

発表資格：発表者（演者）の方は，日本生理学会の会員であることが必要です。未入会の方は入会手続きをしてください。共同発表者の方は入会不要です。入会手続きについては日本生理学会のホームページ（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/psj/public/>）でご確認ください。

連絡先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学環境医学研究所神経性調節分野内  
第52回中部日本生理学会事務局  
（担当：佐藤，野村）

Tel：052-789-3864 Fax：052-789-3889

電子メールアドレス：

chubu@riem.nagoya-u.ac.jp

ホームページ：

<http://www.riem.nagoya-u.ac.jp/~chubu/index.html>